

「聞き書き」で知る 農的暮らしの喜怒哀楽

日時 2010年9月11日(土) 13:30~17:30
会場 川場村ふれあいの家 大広間

里山には、伝統的な技術と知恵が継承されてきましたが、それらはライフスタイルの変化により継承が途絶えようとしています。今回は、NPO法人共存の森ネットワークが行う「なりわい創造塾」との共催により、「聞き書き」の手法を学び、森づくり、狩猟採取、加工、保全、道具づくり、家や暮らしの成り立ちなど多様なテーマで、1人1人の里地里山との関わりを記録する意義と手法、活用について考えます。同時に、先人の生き方や生業のありかたを聞くことを通して、自らの持続可能なライフスタイルについて考えます。

13:30 趣旨説明

13:45 講演

聞き書きから紐解く 持続可能な生き方

作家 塩野米松

15:00 事例報告

川場の山に生きて

話し手：宮田 茂

(もと森林組合職員、川場の山と木に関する知恵袋)

聞き手：塩野米松

林業を自分の仕事に選んで

話し手：鈴木 大介

(20代で東京から川場村の森林組合にターン就職)

聞き手：なりわい創造塾、塩野米松

16:00 書き起こし実習

17:30 終了

◆ 連携企画： なりわい創造塾 聞き書き実習 ◆

9月12日 9:00~12:00

2人1組で村内各所に出向き、聞き書きを実施



講演：塩野米松

作家、NPO法人共存の森ネットワーク理事長。

1947年秋田県角館生まれ。東京理科大学卒。芥川賞候補4回。聞き書きの名手で、失われゆく伝統文化・技術の記録に精力的に取り組んでいる。2002年より、全国の高校生が森や海・川の名手名人を訪ね智恵や技術、人生そのものを聞き書きし、記録する活動「聞き書き甲子園」を展開、その卒業生らとともに共存の森ネットワークを設立、理事長を務める。

著書に『手業に学べ』(小学館)、『木に学べ』(小学館)、『木のいのち、木のこころ-天・地・人』(草思社)など。

■会場

川場ふれあいの家
13:15受付開始
川場村大字谷地2419

■参加方法

参加費無料、先着申込制です。定員50名程度。
お名前、連絡先(メールまたはFAX)を下記までお知らせ下さい。

■お問合せ・申込先

里なび事務局(里地ネットワーク)
申込フォーム <http://www.satonavi.go.jp>
FAX:03-5404-4847 TEL:03-5404-4846
メール: h22@satonavi.go.jp
〒105-0003 東京都港区西新橋2-16-2-3F